



J u n i o r E c o - C l u b

令和7年度 活動報告書

こどもエコクラブ

目次

- ・こどもエコクラブの会員になろう!…1
- ・全国フェスティバル2025 報告…9
- ・県内こどもエコクラブの仲間たち…2
- ・2025 全国エコ活コンクール応募作品
- ・各クラブの仲間たちの活動報告…3~7
- … 10~13
- ・こどもエコクラブ全国事務局 HP 掲載…8
- ・全国フェスティバル 2026 参加…14

茨城県



こどもエコクラブの会員になろう！



こどもエコクラブとは

- 幼児（3歳）から高校生まで、だれでも参加できる環境活動のクラブです。
- 登録料・年会費ともに無料、年間いつでも登録できます。
- 自分たちが興味のある環境活動に、自由に取り組みます。
- 環境省が後援、全面的にバックアップしています。
- 本事業は、平成7年から環境省が実施していた「こどもエコクラブ」事業を、公益財団法人日本環境協会が引き継ぎ実施しているものです。



活動支援のしくみ

- サポーター：子どもたちの活動を支援・指導、全国事務局や地域事務局との連絡係を担っていただきます。
- 地域事務局：都道府県や市町村にこどもエコクラブ窓口を設置している地方自治体（主に環境部局）です。登録の促進をはじめ、クラブへの情報提供や地域の交流会等の開催など、地域の中で活動が活性化するための支援を担っています。
- 企業・団体：子どもたちの環境活動を、寄附・物品やプログラム提供等様々な形で支援いただいています。
- 全国事務局：各ステークホルダーをつなぎ、事業の運営、広報、交流の場の提供を行っています。

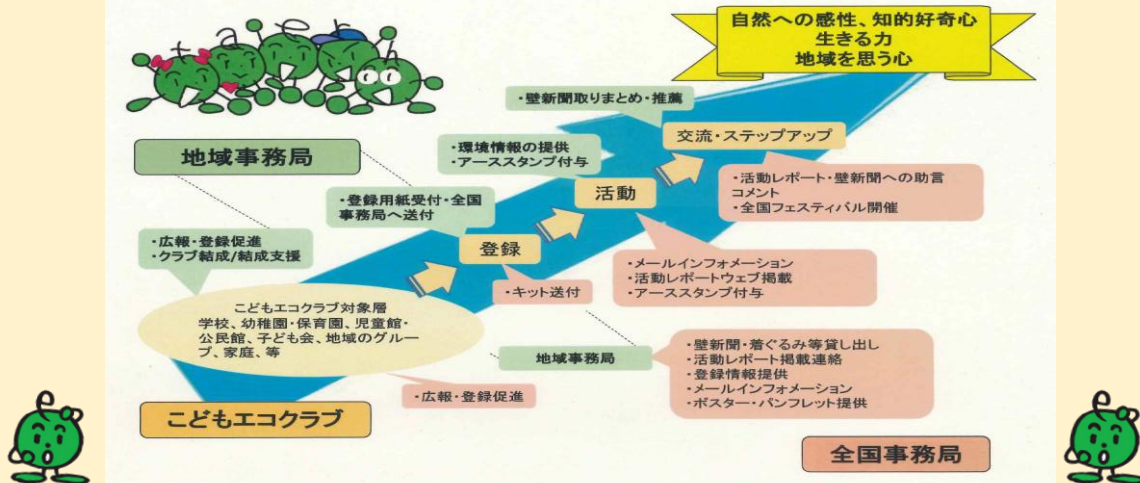


こどもエコクラブに入ると、こんなイコト！

- ①登録無料です！
賠償責任保険が自動的に付保します。
全国事務局にて加入、クラブには保険料負担無です。
- ②幼児メンバーは、エコカードがもらえます！
- ③環境に関する情報が定期的にメールで届きます！
活動に役立つイベント情報などが入手できます。
- ④活動を報告すると、環境に詳しい専門家からエールメッセージが届きます！
報告に対する温かい応援メッセージや、次の活動に役立つアドバイスがもらえます。
- ⑤活動を5回以上報告すると、アースレンジャーの認定証が届きます！
3年間、6年間活動したメンバーにはバッジがもらえます。



【ひとめでわかる!!】こどもエコクラブ事業のしくみ





県内こどもエコクラブの仲間たち



市区町村	クラブ名	メンバー数	サポーター数	活動年数	掲載ページ
水戸市	逆川こどもエコクラブ	125	80	21	3
	水戸内原イオンチアーズクラブ	32	4	18	3
日立市	十王川キッズクラブ	85	12	19	4
	豊浦小学校こどもエコクラブ	438	39	18	4
	こどもエコクラブ	2	1	8	—
土浦市	土浦イオンチアーズクラブ	23	8	15	5
古河市	古河一小エコクラブ	330	30	3	—
石岡市	芦穂小学校	2	2	4	—
下妻市	下妻こどもエコクラブさんぽの楽校	2	4	2	—
常総市	AZUMA	1	1	8	—
笠間市	SG エコキッズ・ところけ	2	1	7	—
	いなだこども園いなだっこエコキッズ	76	26	2	5
取手市	こどもエコクラブ	1	1	4	—
牛久市	岡と大地を歩く会	2	2	10	—
	のんはな	2	2	5	—
つくば市	たいちゃんエコクラブ	2	2	8	—
ひたちなか市	地球を守ろうクラブ	1	1	3	—
坂東市	エコレンジャー Nanago1.2.3.4.5.6!	160	30	19	6
大子町	だいが・池田保育園	64	12	10	6
八千代町	やちよエコクラブ	5	6	20	7

こどもエコクラブ登録数 20クラブ
令和8年1月時点

各クラブの活動報告は
次のページからです！



令和7年度活動報告 (市町村名 水戸市) メンバー数 125人 サポーター数 80人 活動年数 21年

<p>クラブ名 逆川こどもエコクラブ</p>	<p>〈サポーターの声〉 クラブが設立された時、保育園児だった子供たちはユースとなって牽引してくれています。ホタル再生や千波湖ビオトープ造成などの「泥んこ活動」、環境フォーラムなどでの「発表」を経て、みんな素晴らしい子供たちに育っています。</p>
<p>〈活動紹介〉</p> <p>●ホタル保全活動：6月、10月 逆川緑地でのホタル再生活動と子供達の水辺学習会を開催いたしました。今年でホタル再生21年、多くのサポーターとメンバーで楽しく実施することができました。 草刈りなどを終えたメンバーは、春の活動は逆川でエビやヨシノボリを、ホタル池ではメダカやモクスガニを採取して観察しました。秋の活動では、アメリカザリガニ釣りを楽しみました。 逆川緑地のゲンジボタル、ヘイケボタルは、子供たちの手で、このように維持管理され、毎年、ホタルが発生する条件を継続しています。</p>  <p>●つくばエコ環境フォーラム：5月 つくばで開催されたエコ環境フォーラムに昨年度に続いて登壇しました。昨年は地球温暖化をテーマに江守正多先生、今年は外来種をテーマに五箇公一先生とコラボ講演となりました。霞ヶ浦のアメリカナマス、県西に発生しているクビアカツヤカミキリ、県南のナガエツルノゲイトウなどの対応策などをディスカッション。</p> 	<p>●千波湖ビオトープ：6月 今年で14年目となる千波湖ビオトープ造成と外来種学習会を実施しました。水戸市千波湖環境学習会として逆川こどもエコクラブが共催して行われ、親子200人が参加して泥んこ活動を行いました。 本年度も逆川緑地のホタル再生区域から過繁殖しているセキショウ2千本をクラブが採取して千波湖畔に移動。この他に周辺の休耕田からガマ500本を根から採取したものを植え込みました。</p>  <p>●ラムサール沼沼ハゼ釣り体験：6月～10月 関東唯一の汽水湖でラムサール登録地となっている沼沼において、ハゼ釣り体験などを行いました。</p>  <p>●自然体験宿泊学習：10月 大型バス1台50人で出発。初日はトラウトフィッシンググループと大谷石の資料館グループに分かれて過ごしました。2日目は大田原市ふれあいの森で展示されている昆虫の標本に感激。</p>  <p>●エコ通足：8月 エフビコの関東工場へ工場見学に向かわせていただきました。全国フェスティバルでは、トレーtoトレーでブースを出展され、私たちをお出迎えいただいているエコ事業所です。 エフビコは本社が広島県福山市にあります。そのうち、リサイクル工場は全国で6拠点あり、茨城県八千代町には関東リサイクル工場があり、関東全域をカバーしています。リサイクルの大切さを学びました。移動は鉄道とバスの公共交通を利用して32名が参加しました。案内ありがとうございました。</p>  <p>バンガローにみんなで泊まり、夕飯はお肉と野菜のバーベキューや焼きそばを食べて楽しく過ごしました。釣り体験では、コイやウグイを釣り、那珂川上流栃木県の帯川で水辺学習会も行いました。</p> 

令和7年度活動報告 (市町村名 水戸市) メンバー数 32人 サポーター数 4人 活動年数 年

<p>クラブ名 イオンチアーズクラブ水戸内原</p>	<p>〈サポーターの声〉 2026年度の活動は、「災害と防災」をテーマに活動しました。イオン店内での防災の設備を見学したり、つくばの防災科学技術研究所へ見学に行ったり、また、店内でお客さまにアンケート調査を実施し、壁新聞づくりで一年間のまとめをしました。</p>
<p>〈活動紹介〉</p> <p>5月・・・チアーズメンバーで開始式を行い、活動の確認をしました。</p> <p>6月・・・イオン店内の防災設備の見学をしました。</p> <p>7月・・・つくば防災科学技術研究所、JICA 筑波の見学</p> <p>8月・・・小美玉市のイトウ製菓にて、クッキーづくり体験</p> <p>9月・・・8月までの活動のまとめ</p> <p>10月・・・赤い羽根募金活動を実施</p> <p>11月・・・農業収穫体験実施</p> <p>12月・・・壁新聞づくりスタート</p>	  

<p>クラブ名</p> <h1>十王川キッズクラブ</h1>	<p>＜サポーターの声＞</p> <p>十王地区の児童クラブの子ども達を子どもエコクラブに登録し、十王川を中心に環境活動を行っています。環境体験活動として、十王川での環境保全活動、ヤマメ稚魚放流、水生生物調査、カヌー体験、川遊びや、地域の里山整備、農業体験、創作体験など体験を通して感じることで、地域の豊かな自然環境を理解するとともに、自ら環境づくりへの主体的な行動へと結びつけることができました。</p>
<p>＜活動紹介＞</p> <p>通年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山整備 近隣山林で立木伐採、整備 遊具づくりの体験活動 を行いました。 ・農業体験 野菜作り、雑草取り、収穫 を行いました。 ・生物飼育体験 ヤギ、ニワトリなどの動物や、 川で捕まえたカメ、ウナギの 飼育観察を行っています。 <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマメ稚魚放流 十王川にヤマメの稚魚を放流 <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーン・救助訓練 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水生生物調査 十王川で水生生物調査 ・川の体験活動 カヌー・魚とり ライフジャケットで浮遊体験 <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然創作体験 正月飾りなどの創作活動 	 <p>里山整備(近隣の山の整備、遊具づくり)</p>  <p>農業体験・生物飼育体験(ヤギ飼育)</p>  <p>ヤマメ稚魚放流</p>  <p>ビーチクリーン・救助訓練</p>  <p>水生生物調査・川の体験活動</p>  <p>創作活動(正月飾りづくり)</p>

令和7年度活動報告

<p>クラブ名 豊浦小学校こどもエコクラブ (学校名 日立市立豊浦小学校)</p>	<p>＜サポーターの声＞</p> <p>豊浦小学校は日立市の北部に位置し、海・川・山など豊かな自然環境に恵まれた学校です。「ふるさと豊浦」を大切に守っていくために、全校児童 438 名が学年ごとに生活科や総合的な学習の時間の中で、環境を考える活動を行っています。豊浦学区まちづくり推進委員会や保護者、教職員等が活動を支援し充実した活動になりました。</p>
<p>花や生き物の育成作業</p> <p>★ 委員会活動では、花壇の整備を行い緑化の推進に努めました。昨年度の秋に植えた「チューリップ」が、春になって見事に花が咲きました。また、夏には黄色やオレンジの「マリーゴールド」の苗を植えました。毎日欠かさず水やりを行ったり、定期的に除草作業を行ったりしました。今年度は、夏から秋にかけて、初めて「コキア」を栽培しました。緑色だった葉が、赤色に変わっていく様子を観察することができました。そして、秋の終わりに「チューリップ」の球根と「ピオラ」の苗を植えました。水やりなどの世話を通して、植物の成長を喜んだり、開花を心待ちにしたりする子どもたちの姿が見られました。</p> <p>★ 学年ごとに植物を育て、観察、調査を行っています。校舎の裏の丘には、「豊咲園(とよさくえん)」と名付けた学校園があり、様々な植物を育て、理科や総合的な学習の時間などの学習に役立てています。「豊咲園」で使用する土や肥料を購入し、各学年で野菜の種や苗を植えて育てました。</p> <p>★ 豊浦小学校の廊下や教室には、たくさんの生き物がいます。昇降口では金魚やコイを飼っています。児童たちは、育て方を調べ、熱心に世話をしています。</p>	 <p>反田川(たんだがわ)探検(2年生)</p> <p>★ 2年生の児童が、反田川探検をしました。反田川は、豊浦地区を流れる川の一つです。地域のボランティアの方々に協力を得ながら、反田川の生き物を調べ、地域の環境について探究しました。近年、海岸付近の護岸の整備が進み、反田川に生息している生き物の減少が懸念されていましたが、参加した児童全員が思い思いに生き物を見付けることができました。反田川には、エビ、ザリガニ、ドジョウ、タニシ、カニなど、たくさんの生き物が生息していることが分かりました。また、希少なウナギの子どもを捕獲した児童もいました。生き物を見付けるたびに児童は大喜びで、捕まえてはじっくり観察していました。中には、捕獲した生き物を家庭に持ち帰り観察する児童もいました。</p>  

令和7年度活動報告 (土浦市) メンバー数 23 人 サポーター数 8 人 活動年数 15 年

<p>クラブ名 土浦イオンチアーズクラブ (学校名) ※学校を拠点として活動している場合は記入してください。</p>	<p>〈サポーターの声〉 イオンチアーズクラブは、店舗近隣に住む小・中学生がイオンの従業員と一緒に「環境」について楽しく学ぶクラブです。店舗や店舗周辺、時には海や森、施設見学などにも出かけます。</p>
<p>【活動紹介】</p> <p>5月 開始式 牛久農場体験(さつまいもの定植・かぶの収穫など) 6月 出前講座「守ろう！わが町、わが家族」受講 7月 「いばらき学ぼうさい」in イオンモール土浦 参加 8月 自衛隊職場体験/24時間テレビ募金活動 9月 オンラインプログラム「地震のあとに」受講 10月 牛久農場体験(さつまいも・小松菜の収穫) 11月 「防災科学技術研究所」施設見学 1月・2月 壁新聞作成</p>	<p>●2025年度は「防災・災害」をテーマに活動しました。</p> <p>いろいろな活動の中で、災害に備えることの大切さ、避難する時の注意点などを学びました。5月に開始式。6月に土浦市防災危機管理課の「出前講座」を受講。市内のハザードマップから危険な場所や備えを学び、避難所で使用する“ダンボールベッド”の組み立て体験をしました。7月の「まなぼうさい」では茨城県防災危機管理課の地震・津波のVR体験・自衛隊の野外炊飯の車両や給水車を見学。災害が起きた時の対応などをお聞きしました。避難する時の服装や持ち物、備蓄品の重要性、事前に「家族会議」を行い、避難場所・携帯電話が通じないときの連絡手段などを確認しておくことの大切さを学びました。</p>



「出前講座」守ろう！わが町 わが家族



【いばらき学ぼうさい】



「防災科学技術研究所」施設見学



令和7年度活動報告 (市町村名 笠間市) メンバー数 76 人 サポーター数 26 人 活動年数 2 年

<p>クラブ名 いなだこども園いなだっこエコキッズ (学校名 大成学園いなだこども園) ※学校を拠点として活動している場合は記入してください。</p>	<p>〈サポーターの声〉 1年間の活動を通して、今ある“当たり前にあるもの”を守って行かなくてはならないこと。考えていかななくてはいけないことを、一人ひとりが気づき、行動に移すことができました。今後も自分たちでできるエコクラブ活動を続けていきます。</p>	
<p>〈活動紹介〉 1年間の活動について・・・自然や食に関して、育てる楽しさ、自然とのつながりを学んだ1年でした。</p>		
<p>【ぞうぐみのSDGs】 今年のテーマ「花を咲かせよう」</p> 	<p>【マスキングテープでアート】 廃材を活用してアート作品を作りました。テーマは「Smile fireworks」秋の作品展にも掲示しました。</p> <p>【植樹祭】 ブルーベリーや温州みかん、紅葉や花ミズキなど110本の苗木を、地域の方々と一緒に植えました。地域交流と共に自然とのつながりを持つことができました。また、ペットボトルを再利用し、じょうろとして水やりをしました。</p> 	 <p>【野山散策】 地域の博物館を立ち上げた早瀬先生と地域の方々と一緒に野山散策をしました。昆虫や草花などタブレットで写真を撮りながら学び、探究心を持つことができました。</p> 

令和7年度活動報告

(坂東市)

メンバー数 160人

サポーター数 30人

活動年数 19年

<p>クラブ名</p> <p>エコレンジャーNanagol.2.3.4.5.6!</p> <p>(学校名 坂東市立七郷小学校)</p>	<p>私たちの学校は、みどりの森に囲まれた菅生沼に近い、自然豊かな地域にあります。校舎裏には里山があり、歩いていける距離には「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」があります。博物館には年に3、4回、学校から企画展や学習プログラムに参加するために生活科、理科、総合的な学習の時間を使って訪れることができます。学芸員の先生やボランティアさんに教えてもらいながら昆虫や野鳥や樹木のことを知ることができ、自然科学への興味・関心、探究心を高めています。</p>		
<p>1年生「落ち葉でお面づくり」</p> <p>ミュージアムパーク茨城県自然博物館(以下、博物館と表す)に行き、落ち葉を集めてお面作りを行いました。葉の形のよさを生かして工夫して表して遊びました。</p>	<p>2年生「生き物のひみつはっけん」</p> <p>博物館の企画展や常設展示を見学して、様々な生き物の生態や特徴を調べました。生き物への親しみをもって大切にしようとする気持ちを高めて学校でも探したり飼育したりしました。</p>	<p>3年生「昆虫観察会をしよう」</p> <p>博物館の学芸員やボランティアスタッフの方と一緒に、昆虫採集を行いました。採集した昆虫の身体の特徴を間近で観察し、スケッチしたり同定したりしました。</p>	
			
<p>4年生「野鳥観察会をしよう」</p> <p>博物館の学芸員やボランティアスタッフの方に教わりながら、野鳥観察会を行いました。専門的な助言をいただきながら野鳥の特徴や生態を詳しく知ること、地域の生物や自然環境についての興味・関心を改めて見直し、保全への意識を高めました。</p>	<p>5年生「木製プランター作り」</p> <p>県森林協会の方を講師にお招きし、木でプランター作りをしました。活動を通して木材の活用方法や森林の保護について知識を深めました。</p>		<p>6年生「里山の環境」</p> <p>これまでに自然と人の暮らしや環境管理に自ら関わり方を考えて、ネイチャートレイルを手入れしたり、里山の環境保全に取り組み、秋には、里山清掃を行い、集めた落ち葉や木の枝などを一か所に集めて堆肥場を作ったりしました。</p>
			

令和7年度活動報告

(市町村名 大子町)

メンバー数 64人

サポーター数 12人

活動年数 1年

<p>クラブ名</p> <p>いけだ保育園</p>	<p><サポーターの声></p> <p>保育園の統合によりお友達が増えました。自然に囲まれた園で、花を摘んだり、虫を見つけたりと、発見と驚きの日々。お部屋での活動は、廃材を利用していろいろなものを作り、楽しく遊んでいます。</p>		
<p><活動紹介></p> <p>これ 何かな?</p>  <p>園の周りは自然がいっぱい 自由にのびのび(〜♪)</p>  <p>山栗がたたくさん落ちているよ</p>  <p>さあ!! いいものを見つけるよ〜</p>	 <p>レインコートを作って…</p>  <p>ファッションショーをして…</p>  <p>雨を降らせてみた!!</p> <p>野菜も作ったよ</p>		

令和7年度活動報告

(市町村名 八千代町)

メンバー数

5人

サポーター数

6人 活動年数 20年

クラブ名 やちよエコクラブ

(学校名)

※学校を拠点として活動している場合は記入してください。

〈サポーターの声〉

活動開始20年目。身近な環境について「考える体験の機会」を提供してまいりました。これからも「他を思いやる心を育む」環境活動を継続してまいります。

〈活動紹介〉 年間通して「笑顔の花咲くスポット」2か所整備



夏休み・秋まつり活動支援 月球儀・eco工作



地域の子どもの活動支援 「自然の中であそぼう！」



葉っぱラッパー図

フレームアート

目隠しトレイル



ストロートンボ

草木染にチャレンジ

スターウォッチングに参加しませんか？

7月1日、「星の目撃記」のイベントです。天体望遠鏡を借り、星の目撃記のイベントに参加することができます。ぜひ、ご参加ください！

1. 開催日時：7月1日(土) 午後7時から9時 会場：天体望遠鏡
2. 開催場所：八千代町公民館 電話：0476-22-1111
3. 持ち物：足元を固めたシューズ
4. 参加人数：定員10名程度
5. 申込方法：電話にて申し込みください。参加申し込み時：名前、年齢、住所を教えてください。(SMSでもOKです)

〈申込先〉 やちよエコクラブ

天体ショーまとめ

天体望遠鏡、天体望遠鏡の使い方、星の目撃記のイベントに参加することができます。

- 6月1日 本星が西方最大輝角
- 6月7日 おひつじ座流星群出現
- 6月11日 フラウエンシュタイン(満月)
- 6月17日 水星とレグルスが検出
- 6月21日 満星
- 6月22日 ストロヘリウムーン(満月)
- 6月30日 月が火星をかくす

『2025 サマーサイエンス』

参加者募集！

8月23日(土) 午前10時～5時

会場：中央公民館

夏の夜を親子で不思議体験してみませんか？

遠くに見える大輪の花を見ることができかもね！

★小学生未満15歳未満参加無料！

★足元を固めたシューズ！(天体望遠鏡時使用)

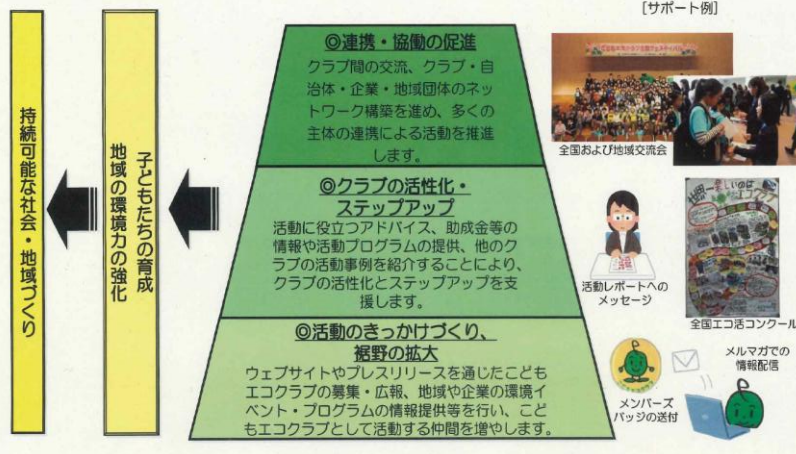
申し込み先：やちよエコクラブ

SMSでOK!

全国事務局

こどもエコクラブのめざすもの

こどもエコクラブ事業は、子どもたちの育成だけでなく、全国各地にいる多くのクラブが企業や自治体との連携・協働のステークホルダーとなることをめざしています。全国事務局では、地域事務局として登録している自治体、事業を支援する企業・団体とともに、子どもたちの主体性や自主性を尊重しながら、それぞれのステージに応じた個々のクラブへのサポートなどを行っています。





★★2024 全国エコ活コンクール★★
壁新聞部門【日本環境協会賞】
「みんなでつなげっぺ茨城の自然」 逆川子どもエコクラブ



～大阪に集まれ!未来につなぐ SDGs チャレンジャー～
2025年3月23日、大阪府咲洲庁舎にて「子どもエコクラブ全国フェスティバル 2025」を開催しました★

☆☆壁新聞道場☆☆ 師範から一言☆☆

日本環境協会賞受賞、おめでとう!逆川子どもエコクラブのみんなが作成した壁新聞を、何年か見てきましたが、その中でも最も秀逸な作品のひとつとして仕上げることができたと思います。

まず、実際の新聞のようにレイアウトされた構成で、記事も多岐にわたり、さらには写真や図を効果的に使うことができました。このまとめ方のおかげで、かなり分量が多いのですが、2024年に行った活動の記事をしっかりと読むことができました。記事には、分かりやすい見出しも付けてあるので、記事の内容も予想できました。

記事の中で最も目を引いたのは、皆さんの活動拠点を紹介した「ぼくたちのフィールド逆川」のコーナーです。大きいスペースを割いたので、力を入れたところだと思うのですが、中央の茨城県の地図に目が行き、周辺の様子が見えるとともに、あわせて逆川の様子、特にホテルの活動について分かりやすくまとめることができました。

その他スケッチも素晴らしい出来に仕上がりました。

☆☆2024 全国エコ活コンクール☆
デジタル部門「優秀賞」

「トンボの保全から
資源のアップサイクルへ」
逆川子どもエコクラブ

☆☆子どもたちから全国の仲間へのメッセージ☆☆

万博イヤーにちなんで「未来」について思いを語ろう!

「暮らしたい未来の環境」とは・・・

「暮らしたい未来」は、いまある自然の恩恵とエコクラブの仲間を大切にしていくことです。僕たちは、幼少期から自然の中で遊び、沢山の生き物や仲間との出会いを通じてかけがえない経験を積み重ねてきました。高学年になり、この感動と活動を続けてこられている感謝の気持ちを、次世代の仲間にも伝えていきたいと感じるようになりました。

今の活動を続けていくことで、同じ志をもつ仲間が増え、魅力的な地域づくりにかかせないチームになり、ワクワクするプロジェクトを僕たちが立ち上げていく未来を目指して、これからも活動していきます。

2024年度「全国エコ活コンクール」
優秀賞 デジタル部門



タイトル：トンボの保全から資源のアップサイクルへ
クラブ名：逆川子どもエコクラブ（茨城県水戸市）
動画URL：https://youtu.be/CMU_DYrf7IE

2025年度 壁新聞コンクール応募作品



【茨城県応募数】

◎応募クラブ 2 チーム

逆川こどもエコクラブ

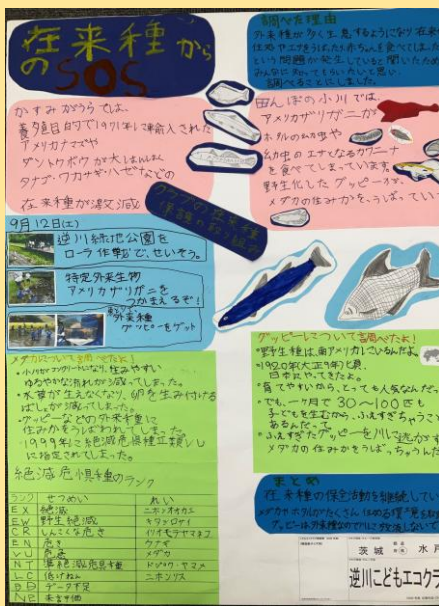
Kids Creation Afterschool

☆「全国エコ活コンクール」の目的☆

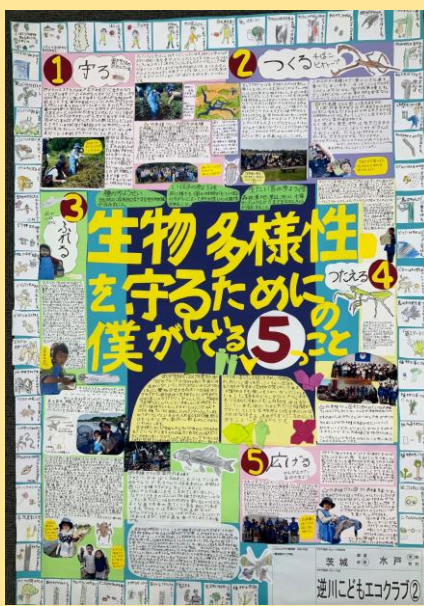
子どもたち自身が感じたことや気がついたことをまとめて活動を振り返ることで、次のステップにつながる様々な力を育み、新たなチャレンジへの発見を得る機会とするため。

こどもエコクラブ全国事務局

壁新聞



逆川こどもエコクラブ①
外来種からのSOS



逆川こどもエコクラブ②
生物多様性を守るために僕ができる5つのこと



逆川こどもエコクラブ③
おり紙ぎじゅつ「ミウラ折り」の活用



逆川こどもエコクラブ④
ゴクゴク動くアリジゴクニュース



逆川こどもエコクラブ⑤
守ろう野鳥～涸沼にきたオオワシ～



逆川こどもエコクラブ⑥
逆川エコ新聞 2025
ホタルかがやく逆川

2025年度 壁新聞コンクール応募作品



【茨城県応募数】

◎応募クラブ 2 チーム
逆川こどもエコクラブ

Kids Creation Afterschool

☆「全国エコ活コンクール」の目的☆

子どもたち自身が感じたことや気がついたことをまとめて活動を振り返ることで、次のステップにつながる様々な力を育み、新たなチャレンジへの発見を得る機会とするため。

こどもエコクラブ全国事務局

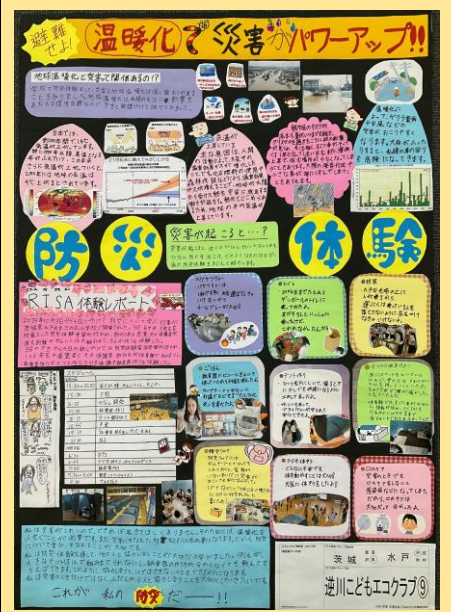
壁新聞



逆川こどもエコクラブ⑦
水戸市の清流 逆川緑地新聞



逆川こどもエコクラブ⑧
排気ガスを減らそう!!



逆川こどもエコクラブ⑨
避難せよ! 温暖化で災害が
パワーアップ!!



逆川こどもエコクラブ⑩
コンポスト堆肥から野菜作りと
リポベジでEco生活!!



逆川こどもエコクラブ⑪
逆川の生物



逆川こどもエコクラブ⑫
目指せ! 脱炭素マスター!



2025 年度 壁新聞コンクール応募作品

【茨城県応募数】

◎応募クラブ 2 チーム

逆川こどもエコクラブ

Kids Creation Afterschool

☆「全国エコ活コンクール」の目的☆

子どもたち自身が感じたことや気がついたことをまとめて活動を振り返ることで、次のステップにつながる様々な力を育み、新たなチャレンジへの発見を得る機会とするため。

こどもエコクラブ全国事務局

☆壁新聞☆

<p>逆川こどもエコクラブ⑬ 逆川こども未来新聞「ふえすぎた外来生物 ぼくたちはどう向き合う!？」</p>	<p>逆川こどもエコクラブ⑭ Road to 茨城県ゼロカーボンシティ宣言!</p>	<p>Kids Creation Afterschool Kids Creation ECO 新聞</p>



2025年度 絵日記コンクール応募作品



【茨城県応募数】

◎応募クラブ 1 チーム
逆川こどもエコクラブ

☆「全国エコ活コンクール」の目的☆

子どもたち自身が感じたことや気がついたことをまとめて活動を振り返ることで、次のステップにつながる様々な力を育み、新たなチャレンジへの発見を得る機会とするため。

こどもエコクラブ全国事務局

☆絵日記☆

タイトル へいけぼたるさんまたあおうね

こんにちは。逆川こどもエコクラブのメンバーです。今日は、逆川緑地のホタル再生とザリガニくじョについてお話しします。逆川緑地は、昔からホタルの生息地として知られており、毎年多くのホタルがここで産卵しています。しかし、近年は環境の変化により、ホタルの数が減少しています。そこで、逆川こどもエコクラブでは、ホタルの生息地を再生させるために、様々な取り組みを行っています。例えば、ホタルの産卵場を整えたり、水質を改善したりしています。また、ザリガニくじョというゲームも開催されており、子どもたちが楽しみながら、自然の大切さを学んでいます。これからも、逆川こどもエコクラブでは、自然と共生するための活動を続けていきます。

タイトル コンポストとりボベジでEco生活！！

こんにちは。逆川こどもエコクラブのメンバーです。今日は、コンポストとりボベジについてお話しします。コンポストとは、有機物を分解して肥料にする過程のことです。家庭で発生する生ゴミや野菜くずなどをコンポストに入れておくと、数ヶ月で肥料になります。この肥料は、野菜や花を育てるのにとても効果的です。また、とりボベジとは、野菜の残渣を再利用するための方法です。例えば、野菜の皮や葉をコンポストに入れておくと、肥料になります。また、野菜の芯や葉を煮込んでおくと、スープや汁になります。これらは、とても美味しいです。また、野菜の皮や葉を乾燥させておくと、お茶やジュースになります。これらは、とても健康的です。これからも、逆川こどもエコクラブでは、Eco生活を推進していきます。

タイトル 「エフピコの工場見学」

こんにちは。逆川こどもエコクラブのメンバーです。今日は、エフピコの工場見学についてお話しします。エフピコは、環境に優しい食品を提供している会社です。工場見学では、エフピコの生産工程や環境対策について詳しく学びました。エフピコの工場は、環境に優しい設備が整っており、生産工程もとても丁寧です。また、エフピコは、環境に優しい食品を提供するために、様々な取り組みを行っています。例えば、環境に優しい包装材を使用したり、環境に優しい生産工程を採用したりしています。また、エフピコは、環境に優しい食品を提供するために、様々な取り組みを行っています。例えば、環境に優しい包装材を使用したり、環境に優しい生産工程を採用したりしています。これからも、逆川こどもエコクラブでは、Eco生活を推進していきます。

「へいけぼたるさんまたあおうね」

「コンポストとりボベジでEco生活！！」

「エフピコの工場見学」

タイトル 「逆川緑地のホタル再生とザリガニくじョ」

こんにちは。逆川こどもエコクラブのメンバーです。今日は、逆川緑地のホタル再生とザリガニくじョについてお話しします。逆川緑地は、昔からホタルの生息地として知られており、毎年多くのホタルがここで産卵しています。しかし、近年は環境の変化により、ホタルの数が減少しています。そこで、逆川こどもエコクラブでは、ホタルの生息地を再生させるために、様々な取り組みを行っています。例えば、ホタルの産卵場を整えたり、水質を改善したりしています。また、ザリガニくじョというゲームも開催されており、子どもたちが楽しみながら、自然の大切さを学んでいます。これからも、逆川こどもエコクラブでは、自然と共生するための活動を続けていきます。

タイトル 「逆川生き物学習会」

こんにちは。逆川こどもエコクラブのメンバーです。今日は、逆川生き物学習会についてお話しします。逆川生き物学習会では、逆川の生き物について詳しく学びました。逆川の生き物は、それぞれの特徴や生態が異なり、とても興味深いです。また、逆川の生き物は、それぞれの特徴や生態が異なり、とても興味深いです。また、逆川の生き物は、それぞれの特徴や生態が異なり、とても興味深いです。これからも、逆川こどもエコクラブでは、自然と共生するための活動を続けていきます。

タイトル 「春のこどもエコクラブにて」

こんにちは。逆川こどもエコクラブのメンバーです。今日は、春のこどもエコクラブについてお話しします。春のこどもエコクラブでは、春の自然について詳しく学びました。春の自然は、とても美しいです。また、春の自然は、とても美しいです。また、春の自然は、とても美しいです。これからも、逆川こどもエコクラブでは、自然と共生するための活動を続けていきます。

「逆川緑地のホタル再生とザリガニくじョ」

「逆川生き物学習会」

「春のこどもエコクラブにて」



★逆川子ども未来新聞 「ふえすぎた外来生物 ぼくたちはどう向き合う!?」 逆川子どもエコクラブ



【活動内容】

水戸市のシンボル千波湖と、その脇を流れる桜川・逆川流域に広がる自然豊かな緑地公園を中心に環境学習を展開しています。水生生物・昆虫・水質検査などの環境学習会、行政と地域の企業も協働して開催されるピオトープ作り、環境フォーラムの実施。また県内の環境イベントへ出展、エコプロダクツや子どもエコクラブ全国フェスタ等の参加を通じて環境を守っていく大切さを学んでいます。

【サポーターの声】

子どもたちが自然とふれ合うことで、そこから何かを感じ、受け止め、学び、心ゆたかに成長してくれることが嬉しいです。

【メンバーからのメッセージ】

★ぼくたち逆川子どもエコクラブでは、20年以上もホテルの保全活動をつづけていたり千波湖ピオトープ活動もしています。★ふだんの活動の中で外来種の問題に興味をもちこの新聞でまとめました。生き物すべてが幸せにらせる未来をつくっていきたいです。

【茨城県事務局からの応援メッセージ】

外来生物が生物多様性に及ぼす影響や、それを解決するための活動紹介と今後の課題について、茨城県に生息する外来生物のイラスト・アメリカナズを料理して食べている写真などを交えながら、わかりやすくまとめ、楽しく読むことができました。行き物すべてが幸せにらせる未来のために、これからも活動を続けてください!!

☆2025年度「全国エコ活コンクール」☆ 絵日記部門 低学年の部 優秀賞 !!

「へいけぼたるさんまたあおうね」 逆川子どもエコクラブ

☆多子どもたちから全国の仲間へのメッセージ☆

生き物が大好きなおにいちゃんについて、わたしもエコクラブに参加しています。ほたるをまもるかつどうでは、おにいちゃんたちがかった草をママといっしょに運んでいます。さいしょはさわれなかった生き物を少しずつさわれるようになりました。

エコクラブでは、たくさんのおにいさん、おねえさんたちがいて楽しいです。これからもかつどうをがんばります。

【茨城県事務局からの応援メッセージ】

どらだらけになりながら、お兄さん達のお手伝いをしている様子が目に浮かびます。自分たちが、ホテルを守る活動を続けることで毎年会えるのが楽しみという気持ちがよく伝わりました。



タイトル
へいけぼたるさんまたあおうね

さあ、おにいさん、おねえさん、みんな、おはようございます。わたしもエコクラブに参加しています。ほたるをまもるかつどうでは、おにいちゃんたちがかった草をママといっしょに運んでいます。さいしょはさわれなかった生き物を少しずつさわれるようになりました。

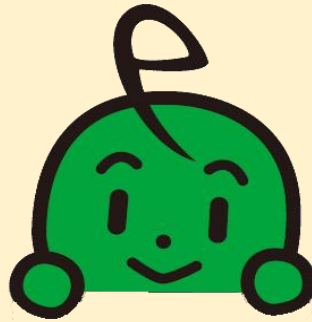
エコクラブでは、たくさんのおにいさん、おねえさんたちがいて楽しいです。これからもかつどうをがんばります。

どらだらけになりながら、お兄さん達のお手伝いをしている様子が目に浮かびます。自分たちが、ホテルを守る活動を続けることで毎年会えるのが楽しみという気持ちがよく伝わりました。

わたしは、おにいさん、おねえさん、みんな、おはようございます。わたしもエコクラブに参加しています。ほたるをまもるかつどうでは、おにいちゃんたちがかった草をママといっしょに運んでいます。さいしょはさわれなかった生き物を少しずつさわれるようになりました。

エコクラブでは、たくさんのおにいさん、おねえさんたちがいて楽しいです。これからもかつどうをがんばります。

どらだらけになりながら、お兄さん達のお手伝いをしている様子が目に浮かびます。自分たちが、ホテルを守る活動を続けることで毎年会えるのが楽しみという気持ちがよく伝わりました。



こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」

こどもエコクラブで活動するには？

詳しくは、茨城県県民生活環境部環境政策課又は
こどもエコクラブ全国事務局までお問い合わせ下さい。

茨城県県民生活環境部環境政策課 内
【こどもエコクラブ茨城県事務局】

<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kansei/kankyo/kodomo-ecoclub.html>

〒310-855 水戸市笠原町 978 番 6

TEL：029-301-2933

FAX：029-301-2949

E-mail：kansei1@pref.ibaraki.lg.jp

公益財団法人日本環境協会
【こどもエコクラブ全国事務局】

<https://www.j-ecoclub.jp/>

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 5 階

TEL:03-5829-6359

FAX:03-5829-6190

E-mail：j-ecoclub@jeas.or.jp